

# 会 議 議 事 録 (抄)

会 議 名	専門学校東京テクニカルカレッジ 第二回 情報・Web・ゲーム系教育課程編成委員会
開 催 日 時	平成 27 年 11 月 20 日 (金) 15 時 30 分～17 時 30 分
会 場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下 1 階 テラホール
参 加 者	<p>&lt;外部委員：8名&gt; (順不同・敬称略、役職は委員名簿参照)</p> <p>中山 典隆 (有限会社イプシロン／東京商工会議所中野支部)</p> <p>杉山 司 (特定非営利活動法人中野コンテンツネットワーク協会／桔梗 ICT パートナーズ株式会社)</p> <p>高橋 忍 (株式会社アルカディアソフト開発)</p> <p>半田 聡子 (サイド・ビィ株式会社)</p> <p>田中 裕一 (リコージャパン株式会社)</p> <p>沖野 仁美 (株式会社テクニカル・ジィ)</p> <p>高橋 秀明 (ネクサート株式会社)</p> <p>高野 恵司 (ドコモ・データコム株式会社)</p> <p>&lt;内部委員：5名&gt;</p> <p>三上 孝明 (学校法人小山学園 専門学校東京テクニカルカレッジ 校長、第一部のみ)</p> <p>白井 雅哲 (同 企画部長、第一部司会、第一部のみ)</p> <p>井坂 昭司 (同 情報処理科科長)</p> <p>松田 達夫 (同 ゲームプログラミング科科長)</p> <p>宮川 進悟 (同 Web デザイナー科科長、記録)</p>
会 議 録	<p>&lt;系別分科会&gt; (第二部)</p> <p>(司会：井坂)</p> <p>1. 前回会議の内容確認とフィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回会議で提出されたご意見・確認事項にたいする進捗状況を報告した</li> </ul> <p>2. 現状報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主に RJP (リアル・ジョブ・プロジェクト) を中心に各科の教育の現状について簡潔に報告した</li> </ul> <p>3. 次年度カリキュラムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度からのカリキュラム変更について報告した</li> </ul> <p>4. 意見交換</p> <p>※ 「新入社員に足りないこと」を中心テーマに、現在の新入社員の技術力や社会人としての資質、学生時代に身に付けるべきこと等について意見交換を行った。</p> <p>(以下 意見交換概要)</p> <p>外部委員：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の新入社員は男子ばかりでみな元気だが、仕事を先輩から盗むとか、お客さんから仕事を学ぶなどの「視野」や「フットワーク」が比較的低い。</li> <li>・読むべき本を提示されても積極的に読もうとしない。</li> </ul> <p>外部委員：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、5月は風邪を引いたり・落ち込んだりメンタル的に弱いのが多かったが、それ以降は</li> </ul>

バリバリやってくれている

・資格取得（基本情報など）を奨励しているが、新入社員が乗って来ない。みんな土日にゲームをやっている。上の人たちやメンターががんばってもなかなかついてこない。

内部委員：

- ・今の学生は5時に帰れというとそのまま5時に帰る。
- ・土日に勉強しろとか作りなよと言ってもなかなかやらない。
- ・ただし、2年生になると残ってやるようになる。

内部委員：

- ・新入社員で会社内の付き合いが嫌で（自分の時間がほしい）やめてしまった者がいる。
- ・今の学生はほとんどがことはいっさいないが協調性はある。

外部委員：

- ・女性の化粧で、カラーコンタクトを入れてくる子がいる。

内部委員：

・男子学生がファッションに気を使わない。おしゃれ度ゼロ。スーツに白い靴下（しかも短いやつ）を履いてくる男子がいる

- ・企業さんに伺うときもスーツにスニーカーとか、絵柄のTシャツが透けているとか。

外部委員：

- ・ファッションについては、技術者なのでなんでもありでもいいのではないか。
- ・仕事はできなければダメだが、会社に愛着があって尖った人材であればそれでよい。

内部委員：

- ・ユニークなファッションや所作は、仕事もできない新人が真似してしまうとまずい。

外部委員：

- ・新人には技術は求めない。新人には学生が参加しているような感覚が欲しい。
- ・今の学生は真面目、エッジが立っていないのでエッジを立てて欲しい。
- ・いろんなメディアを使うとか、授業とは関係ない、人には負けない知識を持っているとか。

内部委員：

・夏休みの過ごし方を聞いたら、8割は家にいてゲームやってただけ。よくても花火や自転車で出かけた程度。

内部委員：

・何か一つ特化して欲しい、オタクになってほしい。例えばウルトラマンが好きだという学生がいるが、その知識が浅い。

- ・課題制作のときに「もっとふざけて」とか「怒られるようなことをやってみて」とか指示してもできない。

外部委員：

・夏休みに何か初めての経験をして来いと言ったら、男子6人中3人が母親といっしょにきれいな料理をしたとのこと。

- ・あるいはせいぜいキャンプしてきた程度。冒険しようという気にならない。

内部委員：

・プログラミングボードを使って何を作れるかアイデア出しをさせたが、おもしろくない案しか出なかった。

外部委員：

- ・それまでの教育で無感動・無関心、失敗しないように周囲が仕向けている。

内部委員：

- ・学校が与えすぎているところもある。

内部委員：

- ・RJP（リアル・ジョブ・プロジェクト）は自分から学べるような教育を目指して始めたが、学生は課題を求めてくる。お膳立てをしないとできない。

内部委員：

- ・昔は怒ると嘘をついて言い訳しようとしたが、今の学生は素直に答える。大人としてのワイルドさに欠ける。

内部委員：

- ・当科の卒業生について、言われたことはできるが自分で考えないと企業さんに言われたことがあるが、そこまで育てるのは難しい。話すことさえできない学生を、言われたことをやれるところまで育てるのが精一杯。

内部委員：

- ・学生に何か新しいことをやらせようとする、まず眠る時間を確保し始める。

外部委員：

- ・学校で何でもやるのは難しいと思うが、優秀な学生に入ってもらっているので今後も期待したい。

## 5. 閉式の辞

以上